

## 特別講座実施報告



# 特別講座実施報告

教育・普及委員会

## 1. 概要

2018年8月24日(金)に品質工学特別講座「田口論説と事例に学ぶパラメータ設計コース」が品質工学会事務所で開催された。参加者は7名であった。これまで同じ講師陣と内容で3回実施したが、4回目の今回は、講師の半数を交代し、あらたな切り口の解説および事例分野の拡充を図った。

特別講座の内容は田口玄一が著した論文を教材として、品質工学の考え方を学ぶことと、併せて優秀事例により品質工学の実践的な知見を得ることを目指したものである。今回も、これまでと同じくパラメータ設計で4つのセッションを企画した。それぞれのセッションで議論の時間が設けられたが、少人数によることと講師の解説の工夫により、話題が尽きず盛況であった。アンケートでも「議論できたのがよかった」という意見を頂いている。

また、本講座は学会が主催するという一方で、従来からあるセミナーのような講師が知識を伝達するという一方向ではなく、参加者との双方向コミュニケーションによって、品質工学の理解を深める新しい教育の形を狙っている。その双方向コミュニケーションの手段として、テキストを事前に参加者へ送付し、田口の論文を読み、それに対する質問の提出をお願いした。提出された質問に対して、講座当日に講師が直接解説を行った。この事前宿題は、参加者からの感想で示すように、好評であることがわかる。前回同様、事前宿題を組み込んだ本講座のプログラムは成功であった。

なお、幾つかの質問については、学会誌の品質工学入門者向け解説欄「QEアラカルト」への掲載を検討している。

このような有意義な特別講座が開催できたことに対して、参加者の方々、本企画・運営に関わった関係者および講師の方々に感謝する。今後は、さらなる内容のブラッシュアップを図りたい。

以下に当日のプログラムを記載する。時間はおおよその値である。

13:00 セッション-1 目的機能と基本機能

コニカミノルタ(株) 田村希志臣

14:00 セッション-2 技術開発テーマを汎用技術に落とし込むコツ

いすゞ自動車(株) 衛藤洋仁

15:00 休憩

15:10 セッション-3 生産技術と品質工学

NMS研究会 吉原 均

16:10 セッション-4 品質よりも生産性

元 東亜合成(株) 中島建夫

17:10 休憩

17:20 事前宿題解説

応用計測研究所(株) 鴨下隆志

(18:00 終了)

以下に各セッションの基本的な内容などを示す。

## 2 各セッション

### 2.1 セッション1 目的機能と基本機能

(田村希志臣)

田口の論説は頁数こそ多くないものの、読む度に新たな気付きがあり、その内容は極めて濃い。とても1時間でその内容をすべて伝えきれるはずもない。今回は「目的機能と基本機能」のセッションタイトル通り、目的機能と基本機能の違いについて、